

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

対馬市まち・ひと・しごと創生第3期推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

長崎県対馬市

### 3 地域再生計画の区域

長崎県対馬市の全域

### 4 地域再生計画の目標

離島である本市の人口は1960年の69,556人をピークとして急速に減少しており、2004年3月に島内6町が合併し、対馬市となった後もその傾向は緩和されることなく、31,457人（2015国勢調査結果）、28,502人（2020年国勢調査結果）と半数以下にまで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると2040年には総人口が17,705人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1980年の12,845人をピークに減少し、2020年には3,311人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の5,437人から2020年には10,989人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが予想されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1980年の32,528人をピークに減少傾向にあり、2020年には14,116人となっている。

自然動態をみると、出生数は1975年以降においては、1975年の857人をピークに減少し、2020年には163人となっている。その一方で、死亡数は2020年には487人と増加の一途をたどっており、出生数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲324人（自然減）となっている。

社会動態をみると、転入出者数の推移は、2010年から2016年まで年間400人程度の社会減となっている状況である。近年は様々な人口減少対策により2019年で360人の社会減となっている。また、年齢区分別でみると、15～19歳の年代で高校や大学進学に伴う転出者数が75人と多く、25～29歳の年代で転入者数がプラスに

転じている状況である。性別等でみると、20～34歳までの女性の転出が多くみられ、雇用機会の制約や結婚等に伴う移動によるものが主因と推測される。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 対馬を盛り上げようとする元気な市民・若者が増えている
- ・基本目標 2 多様な働き方が浸透している
- ・基本目標 3 つながりと便利な生活環境・機会がある
- ・基本目標 4 島の豊かさが市民の誇りと自慢になり、市内外から注目されている

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	20～30代の若者定着率の 向上	14.6%	17%	基本目標 1
ア	子育て満足度の向上	未就学児： 40.0%	60%	基本目標 1
		就学時： 39.5%	60%	基本目標 1
ア	健診を受ける人が増える	42.8%	48%	基本目標 1
イ	起業・創業が増える	13件	15件	基本目標 2

ウ	買い物支援を行っている 地域の数が増える	5地区	7地区	基本目標 3
エ	観光客数が増える	303,546人	392,000人	基本目標 4
エ	空き家バンク成約数が増える	43件	45件	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

対馬市まち・ひと・しごと創生第3期推進事業

- ア 対馬を盛り上げようとする元気な市民・若者を増やすための事業
- イ 多様な働き方を浸透させる事業
- ウ つながりと便利な生活環境・機会を創出する事業
- エ 島の豊かさが市民の誇りと自慢になり、市内外から注目される対馬をつくる事業

#### ② 事業の内容

ア 対馬を盛り上げようとする元気な市民・若者が増えるための事業

元気な市民・若者、外国人居住者が自分の想いを形にできる場づくり、活動やチャレンジを応援する仕組みを整え、誰もが「やってみよう」と思えるエネルギーにあふれた島を目指します。

そのために、一人ひとりの活動を行政や地域が後押しし、みんなの活躍を応援・支援する仕組みをつくる事業。

【具体的な事業】

- ・しまづくりに関与する人材の確保と育成事業

- ・子育てと子どもの育ちがしやすい環境づくり事業
- ・ミドル・シニア層が活躍し続ける環境づくり事業 等

#### **イ 多様な働き方を浸透させる事業**

島民一人ひとりが、それぞれの暮らし方や価値観に合った働き方を選べる柔軟でしなやかな社会をつくり、地域課題に対応できる担い手の確保を目指します。

そのために、島内の資源や文化を生かした地域ビジネスや社会的事業の創出、スキルアップの機会提供を通じて、誰もが自分の得意を活かして活躍できる環境をつくる事業。

##### **【具体的な事業】**

- ・産業構造の変革と維持を目指す事業
- ・対馬の価値の再認識を図る事業
- ・新たな働き方を生む事業 等

#### **ウ つながりと便利な生活環境・機会を創出する事業**

交通や公共施設・インフラが整い、災害に強く誰もが安全・安心に暮らせる環境のもと、年齢・身体・居住地・立場に関係なく、生活・買い物・医療・学び・交流のために行きたい場所に行ける環境、会いたい人や必要なサービス・機会にアクセス出来る環境を目指します。

そのために、安全・安心な基盤づくりや、誰もが行きたい場所・必要なサービスにスムーズにアクセスできる仕組みをつくる事業。

##### **【具体的な事業】**

- ・地域交通の再編維持と新たな展開を目指す事業
- ・公共施設の再編維持と活用を図る事業
- ・集落機能の再編検討事業
- ・危機管理と防災機能の維持を図る事業
- ・コミュニティ再編と新たな展開を図る事業 等

#### **エ 島の豊かさが市民の誇りと自慢になり、市内外から注目される対馬をつくる事業**

豊かな自然環境と共存共栄し、地域の人々の暮らしや経済活動、文化活動が営まれる、持続可能な島としてのあり方を目指します。これらが市

内外から注目を浴び、ひいては対馬の価値を高め、移住者の確保につながると考えます。

そのためには、豊かな自然・歴史・文化を保全しつつ活かし、対馬の価値をより高めるための、個々の取組（アクション）が活発になるしまづぐりに取り組む事業。

**【具体的な事業】**

- ・里地・里山・里海の保全事業
- ・歴史文化の活用と保全事業
- ・宝みがきと地域の自慢（誇り）を醸成する事業
- ・住まいの確保を図る事業 等

※なお、詳細は対馬市第3次総合計画のとおり

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

250,000千円（2026年度～2030年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

産学官金労及びまちづくり団体、女性団体、公募委員等で構成する外部組織である「対馬市総合計画等審議会」において、毎年度7月頃に取り組事業の成果及びPDCAサイクルによる検証を実施する。

**【外部組織の参画者】**

**【産】** 対馬市商工会青年部、対馬農業協同組合、対馬森林組合、対馬地区漁協青壮年部連絡協議会、もりのめぐみ協同組合、対馬市商工会、対馬市漁業協同組合専務参事会、農協青壮年部

**【学】** 対馬高等学校校長、対馬市校長会会長、対馬市教育委員会、厳原南保育園

**【官】** 長崎労働局対馬公共職業安定所、対馬市農業委員会、対馬野生生物保護センター

**【金】** 十八親和銀行対馬支店長、壱岐対馬郵便局長会

**【労】** 連合長崎大東壱岐対馬協議会对馬ブロック連絡会議

**【その他団体】**

一般社団法人対馬観光物産協会、対馬市社会福祉協議会、対馬市男女共同参画推進懇話会、地域で子育てを楽しむ会、特定非営利活動法人 対馬次世代協議会、対馬市エコツアーリズム推進協議会、一般社団法人daidai、対馬家事育児支援センター、公募委員（1名）

#### 【検証結果の公表の方法】

検証後、対馬市HPで公表

#### ⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日令和13年3月31日まで

### 6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで